

埼玉県学力・学習状況調査（小学校）

復習シート 第五学年 国語



組	番号	名前
---	----	----

【「言葉」を問う問題】

1 次の にあてはまる慣用句としてふさわしいものを、1から4までのなかからそれぞれ一つずつ選んで、その番号を書きましよう。

レベル8

(1) 夏休みが近づいてきて 。

- 1 心がおどる
- 2 馬が合う
- 3 底が浅い
- 4 水に流す

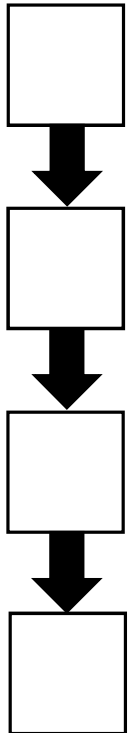
(2) あなたの努力は必ず でしょう。

- 1 頭を冷やす
- 2 メスを入れる
- 3 実を結ぶ
- 4 労をねぎらう

2 次の1〜4の漢字を、漢字辞典の「そう画さくいん」で調べるときに出てくる順番にならびかえましよう。

レベル8

- 4 空
- 3 王
- 2 安
- 1 夏



3 次の文の主語、述語を——線部1〜5の中からそれぞれ選びましよう。

レベル8

(1) わたしは、きのう 友達と プリンを 食べた。

主語

述語

(2) いつも、ぼくは なつとうを たくさん まぜる。

主語

述語

4 次の文の——線部は、何を指していますか。文章中より書きぬきましょう。

レベル7

クラスのたんじんの先生が、カラーペンを教室に持ってきた。昼休みに、わたしはそれをかしてもらって、自分のノートに絵をかいた。

5 次の.....線部は、1～3のどの言葉をくわしくしていますか。1～3の中からそれぞれ一つずつ選んでその番号を書きましょう。

レベル6

(1) ぼくは、お父さんから大きな人形をもらった。

(2) 茶色の筆箱が、つくえに置いてある。

6 次の□にあてはまる言葉としてふさわしいものを1から4までのの中からそれぞれ一つずつ選んで、その番号を書きましょう。

レベル4

(1) 明日は、算数のまとめテストがある。
□、家でたくさん自主学習をやっておこう。

- 1 しかし
- 2 また
- 3 だから
- 4 それとも

(2) ぼくは、空手と野球が得意だ。
□、マラソンとサッカーは苦手だ。

- 1 しかし
- 2 また
- 3 だから
- 4 それとも



埼玉県学力・学習状況調査（小学校）

復習シート 第五学年 国語



組	番号	名前	模範解答

【「言葉」を問う問題】

1 次の にあてはまる慣用句としてふさわしいものを、1から4までのなかからそれぞれ一つずつ選んで、その番号を書きましよう。

レベル8

(1) 夏休みが近づいてきて 。

- 1 心がおどる
- 2 馬が合う
- 3 底が浅い
- 4 水に流す

(2) あなたの努力は必ず でしょう。

- 1 頭を冷やす
- 2 メスを入れる
- 3 実を結ぶ
- 4 労をねぎらう

わくわくした気持ちになることを「心がおどる」といいます。がんばったおかげで良い結果がでることを「実を結ぶ」といいます。

2 次の1〜4の漢字を、漢字辞典の「そう画さくいん」に出てくる順番にならびかえま

しょう。

レベル8 「そう画さくいん」では、画数の少ないものから出てきます。「夏」は十画、「安」は六角、「王」は四画、「空」は八角です。



3 次の文の主語、述語をー線部1〜5の中からそれぞれ選びましよう。

レベル8

(1) わたしは、きのう 友達と プリンを 食べた。

主語 述語

(2) いつも、ぼくは なつとうを たくさん まぜる。

主語 述語

主語は、「だれが（は）」「何が（が）」に当たることばです。述語は、「どうする」「どんなだ」「なんだ」に当たることばです。

4 次の文の は、何を指していますか。文章中より書きぬきましょう。 **レベル7**

クラスのたんじんの先生が、カラーペンを教室に持ってきた。昼休みに、わたしはそれをかしてもらって、自分のノートに絵をかいた。

こそあど言葉は、文章中の言葉を指し示すときにも使います。ここでは「それ」に「かしてもらって」が続くため、直前の文の「カラーペン」を示しているとわかります。

カラーペン

5 次の 線部は、1～3のどの言葉をくわしくしていますか。1～3の中からそれぞれ一つずつ選んでその番号を書きましょう。 **レベル6**

一 ぼくは¹、お父さんから² 大きな³ 人形を³ もらった³。

3

二 茶色の¹ 筆箱が²、つくえに³ おいて³ ある³。

1

くわしくする言葉がくつつくと、それぞれ「お父さんからもらった」「茶色の筆箱」となります。

6 次の にあてはまる言葉としてふさわしいものを1から4までの中からそれぞれ一つずつ選んで、その番号を書きましょう。 **レベル4**

(1) 明日は、算数のまとめテストがある。
 、家でたくさん自主学習をやっておこう。

- 1 しかし
- 2 また
- 3 だから
- 4 それとも

3

(2) ぼくは、空手と野球が得意だ。
 、持久走とサッカーは苦手だ。

- 1 しかし
- 2 また
- 3 だから
- 4 それとも

1

前の文を理由とする時は「だから、そのため、それで」などを使います。前の文と反対になる時は「しかし、けれども」などを使います。

